

# 平成27年度 江別市社会福祉審議会

## 第2回

平成28年2月26日(金)  
午前9時30分～  
市民会館37号室

第

次

1 開 会

2 議 題

### (1) 報告事項

議題1 平成28年度予算案の概要について・・・・・・資料1

議題2 地域密着型通所介護の創設について・・・・・・資料2

議題3 国民健康保険事業実施計画(データヘルス計画)の策定について・・・・・・・別冊

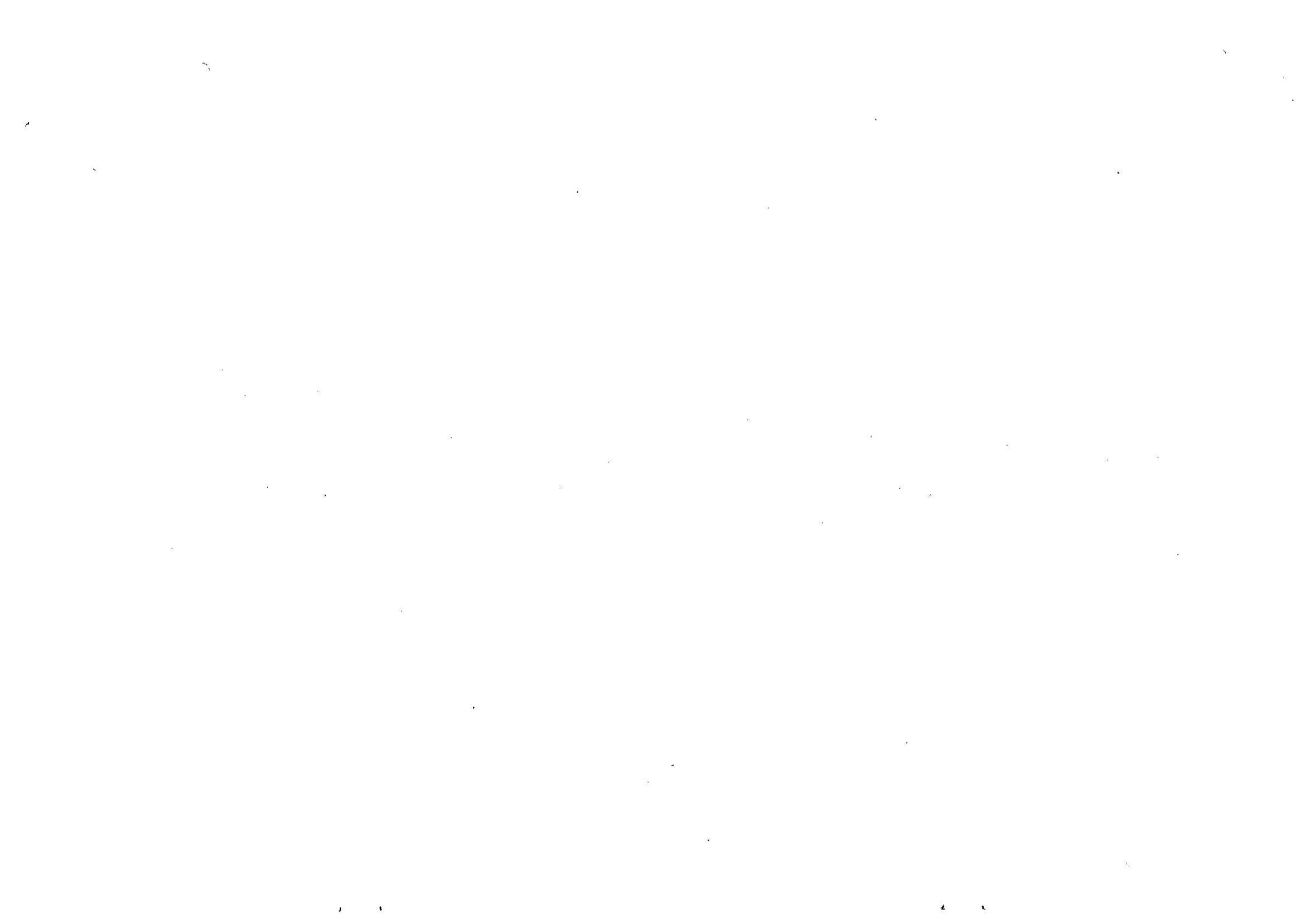
議題4 年金生活者等支援臨時福祉給付金の支給について・・・資料3

議題5 江別市高齢者総合計画に基づく施設整備の進捗状況について・・・・・・・資料4

議題6 「江別市立保育園の整備と運営等に関する計画の進捗状況について」・・・・・・・資料5

3 その他

4 閉 会



# 江別市予算案

平成28年度

## 総合計金額由門管理会議会員会

### 基 本 方 針

平成28年度は、「えべつ未来づくりビジョン」の3年目となります。江別市は、「えべつ未来づくりビジョン」に掲げた「4つのまちづくりの基本理念」と、基本理念の根幹となる「協働のまちづくり」の考え方を踏まえてまちづくりを進めます。

#### 基 本 理 念

- 安心して暮らせるまち
- 子育て応援のまち
- 協働のまちづくり
- 活力のあるまち
- 環境にやさしいまち

### 予算編成のポイント

平成28年度予算編成では、この基本理念に基づいてまちづくりを進めめる「まちづくり政策」に沿つて、継続事業や新規事業を組み立てるなどに、江別市の特性や優位性を活かして、まちの魅力を高めしていくために重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」を推進します。また、国・国の補正予算に伴う地方創生加速化交付金を活用し、平成27年度補正予算と一体的に推進します。

#### 安心して暮らせるまち

- ・地域防災力向上支援事業
- ・住宅取得支援事業
- ・江別の顔づくり事業
- ・新栄団地建替事業
- ・公共交通利用促進対策事業
- ・江別小学校・第三小学校統合校建設事業
- ・消費者保護育成事業

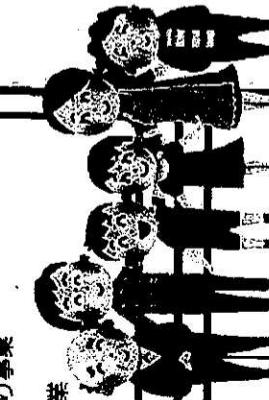
#### 子育て応援のまち

- ・保育料の独自軽減
- ・待機児童解消対策事業
- ・よつば保育園建設整備事業
- ・親子安心育成ひろば事業（子育てひろば事業）
- ・あそびのひろば事業
- ・小中学校学習サポート事業
- ・小中学校外國語教育支援事業

#### 予算規模（各会計予算額）

	(単位：千円)		
	平成27年度	平成28年度	増減
一般会計	45,910,000	46,450,000	540,000
特別会計	25,442,000	26,107,000	665,000
企業会計	18,529,008	18,566,606	37,598
全 会 計	89,881,008	91,123,606	1,242,598

一般会計は464億5千万円で、前年から5億4千万円（1.2%）増加しました。これは、江別小・第三小統合校の建設や、都市と農村交流施設のほか、福祉・医療などの社会保障費の自然増によるものです。全会計合計では、911億2,360万6千円となり、前年度から12億4,259万8千円（1.4%）増加しました。



#### 活力のあるまち

- ・商工業活性化事業
- ・総合特区推進事業
- ・江別アンテナショップGET'S管理運営事業
- ・都市と農村交流施設建設事業
- ・働きたい女性のための就職支援事業
- ・スポーツ合宿誘致推進事業
- ・有給インセンティブ等地域就職支援事業

#### 環境にやさしいまち

- ・自治会防犯灯設置費補助金（LED化）
- ・地域緑化事業
- ・花のある街並みづくり事業
- ・環境教育等推進事業
- ・生ごみ減量化推進事業

## 政策03 福祉・医療・保健

13,512,231千円（前年比+985,709千円、+7.9%）

だれもが健やかに安心して暮らせるえべつをめざします

### 健康づくり推進事業

4,255千円

第2次えべつ市民健康づくりプラン21に基づき、市民の健やかの保育・増進を目指した生活習慣の実践や、地域の健康づくり活動を推進します。

- ◆ 健康づくり推進員の活動支援
- ◆ 心の健康づくり
- ◆ 出前講座



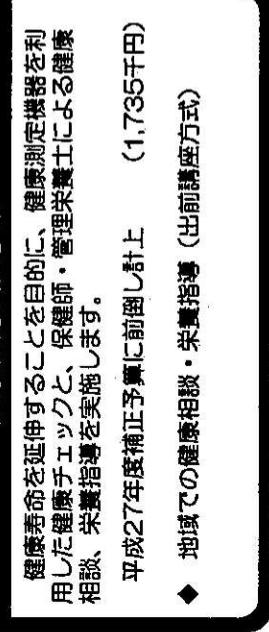
### 健康づくり推進員事業「室内ウォーキング」

新規

#### 地域健康相談・健康教育強化事業

健康寿命を延伸することを目的に、健康測定機器を利用した健康チェックと、保健師・管理栄養士による健康相談、栄養指導を実施します。  
平成27年度補正予算に前倒し計上 (1,735千円)

- ◆ 地域での健康相談・栄養指導（出前講座方式）

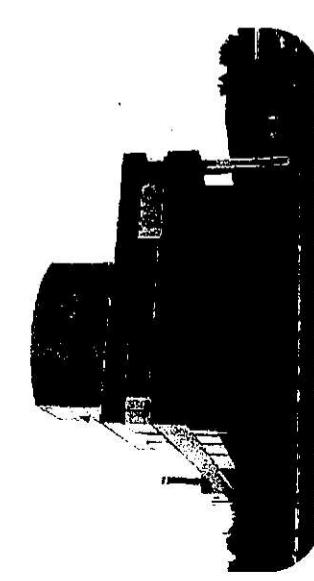


### 成人検診推進事業

(がん検診受診促進経費) 14,132千円

がんの早期発見、早期治療による重症化の予防のため、がん検診の受診勧奨や、乳がん・子宮頸がんの無料クーポン券配布を行います。

- ◆ 検診の受診勧奨
- ◆ 無料クーポン券の配布
- ◆ 新規 自己採取HPV検査キットの送付  
(20歳の女性対象)



江別市保健センター

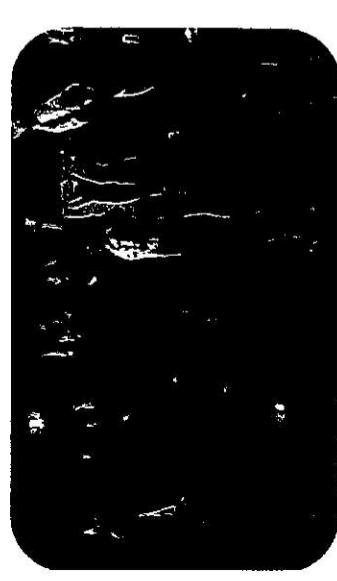


### 新規 E-リズム推進事業

市民の生活習慣病の予防や健康の保持増進を目的に、江別版E-リズムエクササイズ「E-リズム」の普及啓発を行います。

平成27年度補正予算に前倒し計上 (1,184千円)

- ◆ 市民向け体験会・講習会の開催
- ◆ インストラクターの養成



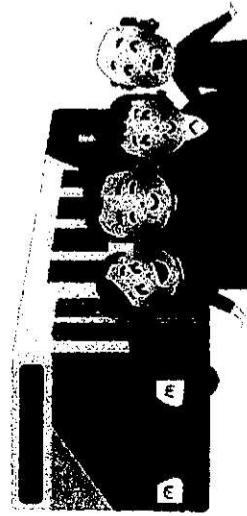
江別版E-リズムエクササイズ「E-リズム」

## 政策〇3 福祉・医療・保健

**高齢者等社会参加  
促進／バス助成事業** 5,750 千円

高齢者や障がい者等の生きがいづくりや社会参加等を目的とした活動に対し、団体で借り上げるバスの費用の一部を助成します。

- ◆ 市内の福祉関係団体等に対するバス借上費用の一部助成（1日4万円上限（29人以下3万5千円））



**障害者就労相談支援事業** 9,088 千円

障がい者の就労に関する相談、企業の障がい者雇用に関する相談窓口を設置し、障がい者の社会的自立を促進します。

- ◆ 障がい者や企業からの総合相談、障害福祉サービスとのマッチング
- ◆ 就労者への職場巡回、来所相談等による定着支援

**市民後見推進事業** 1,409 千円

今後見込まれる成年後見制度の利用増大に対応するため、市民後見人の活動を支援する体制等の検討を行います。

- ◆ 新規 後見実施機関整備に向けた検討会の実施
- ◆ 新規 市民後見人フォローアップ研修

**生活困窮者自立支援事業** 29,429 千円

生活保護制度の対象とならない生活困窮者の方に対しする相談業務を行います。また、離職により生宅を喪失した方への支援も行います。

- ◆ 自立に向けた相談・情報提供・支援（江別市総合社会福祉センター内）
- ◆ 住宅確保交付金の支給
- ◆ 新規 家計相談・就労準備支援の実施



江別市総合社会福祉センター（錦町14-87）

### その他主要事業（政策〇3）

- 社会福祉協議会補助金
- 夜間急病センター運営経費
- 高齢者予防接種経費
- 成人検診推進事業
- （結核予防・がん検診経費）
- 障害者自立支援給付費（児童）
- 障害者自立支援給付費（児童）
- 自立支援医療給付費
- 重度心身障害者医療費

- 福祉除雪サービス事業
- 介護サービス提供基盤等整備事業
- 地域介護・福祉空間整備等事業
- 生活扶助自立助長支援事業
- 臨時福祉給付金（3事業）
- 国民健康保険会計繰出金
- 病院事業会計繰出金
- 介護保険会計繰出金
- 後期高齢者医療会計繰出金

## 政策06 子育て・教育

8,734,051千円（前年比△1,115,991千円、△11.3%）

未来のえべつを支える元気で晴屋豊かな子どもたちの育成をめざします

### 保育料の独自軽減

「えべつ・安心子育てプラン（江別市子ども・子育て支援事業計画）」に基づき、子育て家庭への経済的負担を考慮し、引き続き保育料の軽減を図ります。

- ◆ 市の独自軽減率 26.03%



### 待機児童解消対策事業

165,706千円

0～2歳までの待機児童の解消に向け、受け皿となる小規模保育施設等に対し、開設経費や人材確保、運営費補助などにより支援します。

- ◆ 保育従事者の養成
- ◆ 小規模・事業所内保育施設の運営補助
- ◆ 施設改修補助
- ◆ 拡大 1施設増加（H28.10月予定）



### 保育園の地域活動

81,273千円

老朽化した白樺保育園と若草保育園を統合園として建設し、0歳～5歳までの就学前児童への保育サービスを提供します。

- ◆ 統合園外構工事、備品等整備
- ◆ 施設名 よつば保育園（平成28年秋頃開園予定）
- ◆ 定員140人（平成29年4月から）



### あそびのひろば事業

2,921千円

地域の子どもたちの遊び場として、また、子育てに関する情報交換や親子の交流の場として、市内全域で月に1～2回開設します。また、民生委員・児童委員や子育てサポートナーに協力いただき、出前型のあそびのひろばを提供します。



### あそびのひろば「あさひ」

#### 親子安心育成支援事業

（子育てひろば事業） 26,885千円

商業施設内に開設した子育てひろば「ぼこあぼこ」を運営します。季節や天候を問わない室内型で、大型遊具やクライミングウォールなどを備え、子どもが自由に遊べる空間を提供します。

- ◆ 子育てひろば「ぼこあぼこ」
- 原則無休 9:30～17:30 利用料無料
- 歳～小学校3年生まで（保護者同伴）
- （図書コーナーは小学校6年生まで）



「ぼこあぼこ」で遊び親子

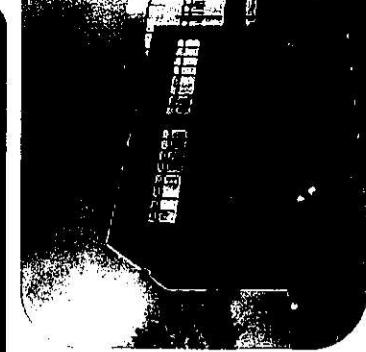
ぼこあぼこ

## 政策〇6 子育て・教育

### 江別小学校・江別第三小学校 統合校建設事業 1,753,868 千円

江別小学校・江別第三小学校統合校（江別第一小学校）で使用する新校舎を建設しています。校舎には放課後児童会を併設します。

- ◆ 新規 江別小学校解体工事
- ◆ 放課後児童会（平成28年10月完成予定）



### 新規 いのちを育むイベント事業

221 千円

広く様々な年代の市民が、次の世代の大切な命を育むことに熱心を持ち、理解を深めてもらうために、年度ごとにテーマを決めてイベントを開催します。

- ◆ 「妊娠」をテーマにしたイベントの実施  
(マタニティヨガ、Eーリズムの体験会  
健康相談、講演会など)



### 校舎屋体耐震化事業 (小・中学校)

358,091 千円

学校施設の耐震化のため改築した江別太小、第一中の外構・グラウンド工事を実施します。

また、各校の体育館について、バスケットゴールや照明等非構造部材の耐震改修を平成27年度から2か年で進めています。

- ◆ 江別太小、第一中外構・グラウンド工事
- ◆ 体育館非構造部材耐震化（平成28年14校）



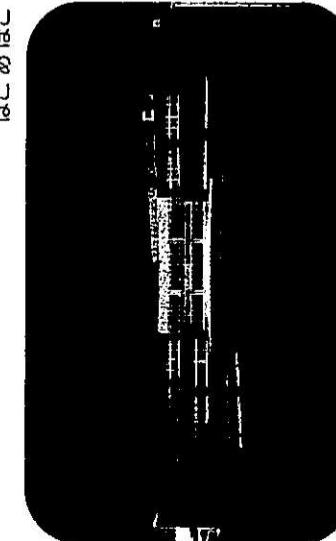
### 放課後児童クラブ 施設整備事業 65,395 千円

平成28年度完成予定の江別小学校・江別第三小学校統合校（江別第一小学校）に放課後児童クラブを併設します。（平成28年11月オープン予定）

- ◆ 建設工事
- ◆ 放課後児童クラブ運営委託  
拡大 公設児童クラブの開設時間延長  
(19時15分まで)



統合校の校舎完成イメージ図



### いじめ・不登校対策事業

5,990 千円

いじめ・不登校に悩む児童生徒の支援として、専用窓口を設置し電話・面談相談に対応します。また、不登校児童生徒を対象としたケア事業（体験活動）、スポットケア事業（学習活動）を実施します。

- ◆ 専任指導員による電話・面談相談
- ◆ 臨床心理士による教育相談
- ◆ 拡大 スポットケア事業 週2日→週3日



江別第一中学校

江別太小学校

## 政策06 子育て・教育

### 情報教育推進事業

18,151 千円

児童・生徒のICT教育を推進するため、児童生徒用・教員用パソコンやデジタル教科書などの情報機器を整備します。

- ◆ 教育用パソコン等 ICT機器維持管理経費
- ◆ 校務用パソコンの更新
- ◆ 第一小タブレットPC導入（市デリ事業）
- ◆ 新規 デジタル教科書の購入（全小中学校）



### 小中学校外国語教育支援事業

29,118 千円

より個学年から英語に慣れ、コミュニケーション能力の素地を養うため、英語を母国語どするる外国語指導助手により、小学校全学年で外国語活動を行います。また、中学校の英語の授業時に、外国语指導助手を派遣し、チームティーチングを行います。（H28～小・中学校事業統合）



### 小中学校学習サポート事業

9,327 千円

退職教員などを活用し、複数の教員が指導することで、子ども達の学力向上に取り組みます。

- ◆ 夏季・冬季休業中の補充的学習（小・中学校）
- ◆ 放課後の補充的学習（中学校）

### チームティーチング 大麻原小



### 児童生徒体力向上事業

657 千円

北翔大学の協力のもと、小学校低学年向けに基盤的な運動を継続的に行える「朝運動プログラム」を実施します。

- ◆ 朝運動プログラムの実施（文京台小）
- ◆ 出前事業の実施（3校予定）
- ◆ 走り方教室の実施



### その他主要事業（政策06）

- 児童扶養手当 511,747 千円
- 児童手当 1,576,585 千円
- 放課後児童クラブ運営費補助金 105,631 千円
- 保育園運営経費 106,248 千円
- 教育・保育施設給付事業 1,264,120 千円
- 民間社会福祉施設整備費補助事業 281,996 千円
- 病児・病後児保育事業 18,485 千円

■ 児童館地域交流推進事業	54,474 千円
■ 乳幼児等医療費	125,536 千円
■ 予防接種経費	146,199 千円
■ 幼稚園就園奨励費補助金	118,575 千円
■ 私立幼稚園補助金（運営費補助金）	10,699 千円
■ 特別支援教育推進事業	35,050 千円
■ 学校給食事業	238,607 千円

## 特別会計

26,107,000千円 (前年比+665,000千円、+2.6%)

### 国民健康保険特別会計

15,408,000 千円

江別市国民健康保険の被保険者に対して、疾病、負傷、出産又は死亡に関する保険給付や健康の保持・増進のために必要な事業を行います。

- ◆ 保険給付費の増加等により、前年比3.9%増加します。
- ◆ 国保税の軽減や健診事業等のため一般会計から1,038,478千円の繰り入れを受けます。
- ◆ 特定健診の受診促進等に積極的に取り組んだ自治会に対し助成金を交付します。

### 介護保険特別会計

9,016,000 千円

第6期介護保険事業計画に基づき、高齢化による介護給付費の増加を見据えて計画的に事業を進めています。

- ◆ 要介護者・要支援者の増加により前年比2.2%増加します。
- ◆ 介護予防の取り組み、地域包括支援センターの運営など地域支援事業を実施します。

### 後期高齢者医療特別会計

1,479,000 千円

主に75歳以上の高齢者の方方が加入する後期高齢者医療保険制度について、保険料の管理や、申請受付等の各種事務を行う会計です。

- ◆ 被保険者が納付する保険料 1,117,877千円
- ◆ 低所得者の保険料軽減に対する公費負担 318,416千円
- ◆ その他事務費など 42,707千円

### 基本財産基金運用特別会計

204,000 千円

江別市有林処分金をもとにした市の財政に寄与するための基本財産基金について、その運用の経理を明確にするための会計です。

- ◆ 基金で保有している土地の管理経費
- ◆ 市民体育館のバケットゴール更新整備など市の投資事業等に対する償却費用
- ◆ 土地・現金の運用益の基金への繰出金

## 公営企業会計

3,718,380 千円

### 水道事業会計

18,566,606千円 (前年比+37,598千円、+0.2%)

### 下水道事業会計

6,221,964 千円

下水道事業では、安全で快適な生活環境を確保するため、重要度や緊急度を考慮した長寿命化計画に基づき、老朽化する下水道施設を計画的に改築・更新するとともに、耐震化に向けた調査を実施します。

### 病院事業会計

3,626,262 千円

病院事業では、総合内科を中心とした医師等の確実な診療を行っており、地域医療の充実に向けて良質な医療を提供します。

- ◆ 夜間急病センター及び近隣町村等への診療支援を継続します。
- ◆ 健康都市の実現に向けた各種健診及び在宅診療等の推進に努めます。
- ◆ 包括医療費支払い制度(DPC)の採用及び地域包括ケア病棟の導入による病棟再編等の根本的な経営改革を行い、収益確保に努めます。



江別市水道庁舎



江別市立病院

平成28年度 江別市予算規模の概要（企業会計を除く）

(千円)

		27年度当初 (A)	28年度当初案 (B)	差引 (B)-(A)	増減率	備 考
一般会計		45,910,000	46,450,000	540,000	1.2%	
特別会計	国民健康保険	14,824,000	15,408,000	584,000	3.9%	
	後期高齢者医療	1,552,000	1,479,000	△ 73,000	-4.7%	
	介護保険	8,819,000	9,016,000	197,000	2.2%	
	基本財産	247,000	204,000	△ 43,000	-17.4%	
計		71,352,000	72,557,000	1,205,000	1.7%	

うち健康福祉部関係予算

(千円)

		27年度当初 (A)	28年度当初案 (B)	差引 (B)-(A)	増減率	備 考
一般会計	健康福祉部	13,688,794	14,614,403	925,609	6.8%	
	健康福祉部予算の割合	29.8%	31.5%	1.7%	-	
特別会計	国民健康保険	14,824,000	15,408,000	584,000	3.9%	
	後期高齢者医療	1,552,000	1,479,000	△ 73,000	-4.7%	
	介護保険	8,819,000	9,016,000	197,000	2.2%	
計	健康福祉部	38,883,794	40,517,403	1,633,609	4.2%	
	健康福祉部予算の割合	54.5%	55.9%	1.4%	-	

# 地域密着型通所介護の創設について

## 資料2

### 1 創設理由

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律において、地域密着型サービスに新たに通所介護が追加され、小規模な通所介護事業所については、少人数で生活圏域に密着したサービスであることを踏まえ、地域との連携や運営の透明性の確保、また、地域包括ケアシステムの構築を図る観点から整合性のあるサービス基盤の整備を行う必要があるため。

### 2 創設された介護サービス

地域密着型通所介護（利用定員18人以下）

※同時に、療養型通所介護も地域密着型へ移行

### 3 地域密着型通所介護創設に伴う指定基準（条例改正）について

介護保険法、基準省令が改正されたため、関係する条例を改正する。

- (1) 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例
- (2) 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例

#### (3) 高齢者福祉施設条例

○基準については、従来の通所介護・療養通所介護の基準がほぼそのまま移行する。  
○地域密着型サービスに移行したことを踏まえ、「運営推進会議」の定期的な開催を義務付け

○市の独自基準として、暴力団の介入防止・影響排除、文書保存年限を5年とする。

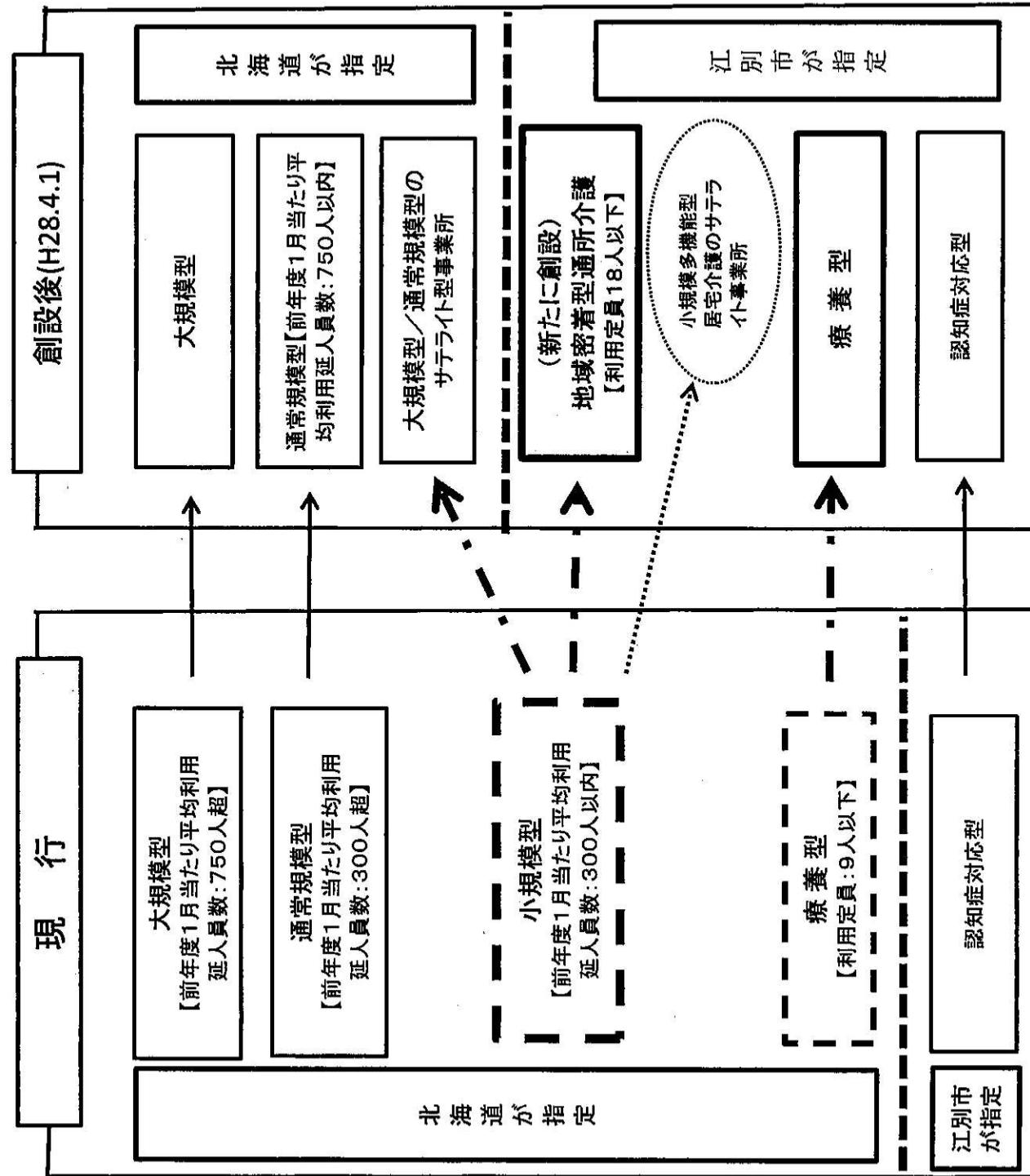
※平成28年第1回江別市議会定例会に条例改正を上程予定

### 4 施行期日

平成28年4月1日

必要に応じて経過措置を設ける。

## 小規模通所介護の創設(移行)について



※地域密着型通所介護移行に際し、下記のとおりみなすことをとしている。

- ①事業所の所在地（江別市）の長から指定を受けたもの
  - ②平成28年3月31日現在、江別市以外の市町村の被保険者が利用していた場合は、他の市町村の長から指定を受けたもの
- ⇒新たな申請は不要

※地域密着型通所介護に位置づける際の判断基準となる「利用定員18人以下」は、現在届けられている利用定員で判断する。

## 介護サービス事業者の指定について(H28.4.1以降)

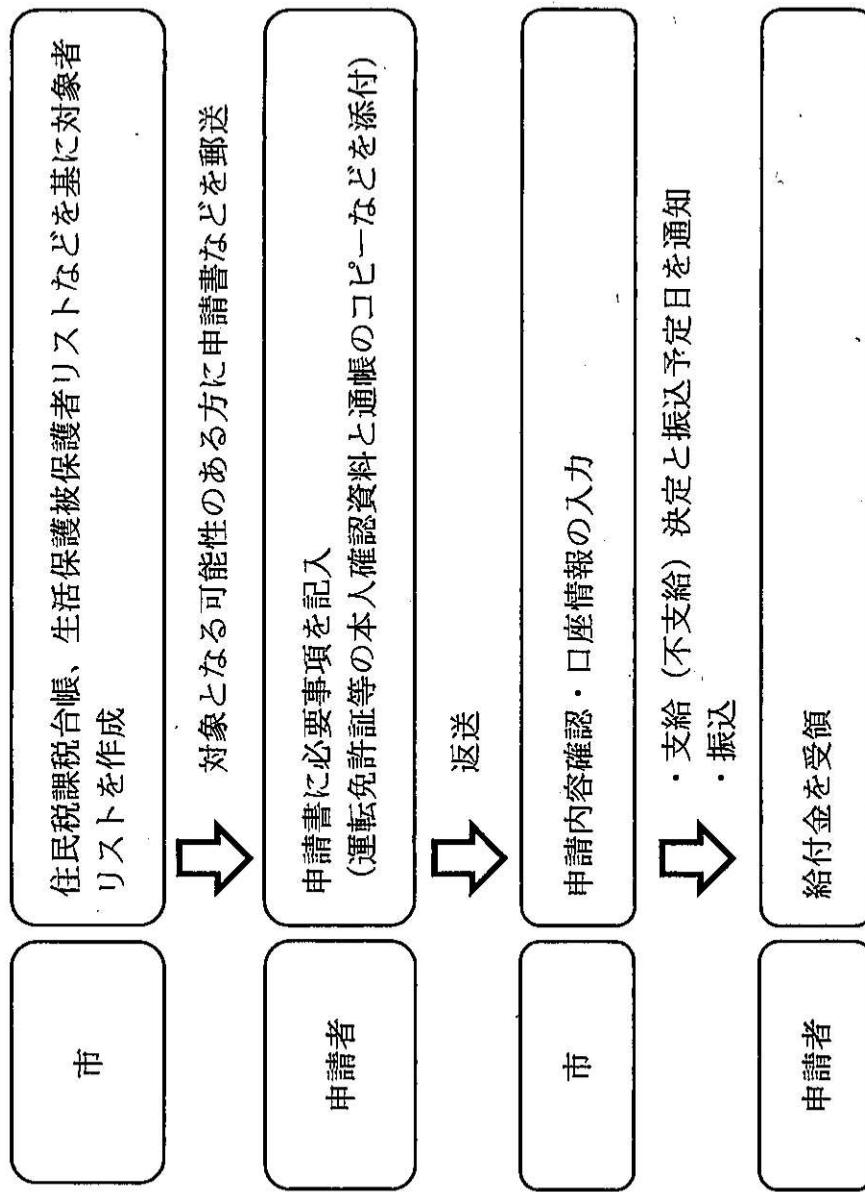
### ○江別市が指定する介護サービス事業

定期巡回・随時対応型訪問介護看護	(介護予防)定期巡回・随時対応型訪問介護
夜間対応型訪問看護	(介護予防)夜間対応型訪問看護
(介護予防)認知症対応型通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護
(介護予防)小規模多機能型居宅介護	(介護予防)小規模多機能型居宅介護
(介護予防)認知症対応型共同生活介護	(介護予防)認知症対応型共同生活介護
地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護
指定介護予防支援事業者	指定介護予防支援事業者
地域密着型通所介護(利用定員18人以下)	地域密着型通所介護(利用定員18人以下)
療養型通所介護	療養型通所介護
(介護予防)特定福祉用具販売	(介護予防)特定福祉用具販売
指定介護老人福祉施設	指定介護老人福祉施設
介護老人保健施設	介護老人保健施設
指定介護療養型医療施設	指定介護療養型医療施設
指定居宅介護支援	指定居宅介護支援

※(介護予防)の表記について

例:認知症対応型通所介護(サービス対象者:要介護1~5)と介護予防認知症対応型通所介護(サービス対象者:要支援1、2)がある。

支給の流れ



2 事務作業日程(予定)

臨時福祉給付金 (高齢者向け)		臨時福祉給付金 (①通常・②障害(遺族)基礎年金受給者向け)
(1) 申請書の送付	4月下旬	9月初め
(2) 申請受付開始	4月下旬	9月初め
(3) 第1回支給	5月下旬	10月
(4) 申請書受付期限	7月末	2月末

### 3 制度の概要

区分	臨時福祉給付金 (高齢者向け)	臨時福祉給付金 (①通常・②障害(遺族)基礎年金受給者向け)
(1) 事業の目的	アベノミクスの成果の均てん(賃金引上げの恩恵が及びにくい低年金受給者への支援) や、平成28年前半の個人消費を下支えするため。 ※平成29年度から実施される年金生活者支援給付金の前倒し的な性格も含む。	①消費税率引上げに際し、低所得者に与える負担の影響に鑑み、適切な配慮を行いうため。 ②アベノミクスの成果の均てん(賃金引上げの恩恵が及びにくく低年金受給者への支援)を行うため。 ※平成29年度から実施される年金生活者支援給付金の前倒し的な性格も含む。
(2) 基準日	平成27年1月1日	平成28年1月1日
(3) 納付対象者	平成27年度の市民税が課税されていない方のうち、平成28年度中に満65歳以上となる方(S27.4.1以前生まれ)	①平成28年度の市民税が課税されていらない方 ②①のうち、平成28年5月分の障害(遺族)基礎年金を受給している方
(4) 除外対象 (3)のうち)	・平成27年度の市民税課税者の税法上の扶養親族等 ・生活保護制度における被保護者等	・平成28年度の市民税課税者の税法上の扶養親族等 ・生活保護制度における被保護者等 ・②は臨時福祉給付金(高齢者向け)の対象者は除く
(5) 納付額	1人あたり30,000円	① 1人あたり 3,000円 ② 1人あたり 30,000円(①に加算)
(6) 納付見込人数	16,000人	① 30,000人 ② 2,200人
(7) 納付総額見込	4億8,000万円	① 9,000万円 ② 6,600万円
(8) 費用負担	給付費・事務費とともに全額国庫負担	

## 江別市高齢者総合計画に基づく施設整備の進捗状況について

### 介護保険課

#### 1 江別市高齢者総合計画（第7期江別市高齢者保健福祉計画及び第6期江別市介護保険事業計画）の概要

- ・「第6次江別市総合計画」「江別市地域福祉計画」との整合
- ・根拠法令 第7期江別市高齢者保健福祉計画 老人福祉法第20条の8  
第6期江別市介護保険事業計画 介護保険法第117条
- ・計画期間 平成27年度～平成29年度

#### 2 計画の基本的な考え方

- ・前計画基本理念の承継

「江別市に住むすべての高齢者が自分が自分の意思で、自分が望む生活を送ることができるよう地域全体で認め合い、支えあうまちづくりを目指す」

#### 3 施設・居住系サービスの基盤整備

- ・居住系サービス

##### 【平成28年度開設予定】

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特養）

1施設；29床

##### 【平成29年度開設予定】

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

1施設；18床（ユニット）

- ・施設サービス

##### 【平成29年度開設予定】

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）  
1施設；50床

#### 4 施設等整備事業者の決定

- ・整備を行う事業者は公募により募集し、公平・公正に選考することを目的として、「江別市地域密着型サービス事業者選定委員会」、「江別市介護保険施設事業者選考委員会」を設置。
- ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特養）、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）については、「江別市地域密着型サービス事業者選定委員会」において、平成27年12月に決定済み（詳細は16ページに記載）。

- ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）については、今後「江別市介護保険施設事業者選考委員会」において、整備事業者を選考のうえ、北海道との協議を経て、認可、指定を受けた後、開設。

#### 5 今後の予定

- ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特養）  
平成28年度中：開設
- ・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）  
平成29年度中：開設
- ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）  
平成28年 3月：「江別市介護保険施設事業者選考委員会」設置  
4月：公募実施について公表  
：公募受付開始  
7月：整備事業者選考  
8月：北海道との事前協議  
平成29年 2月：北海道へ協議書提出  
平成29年度中：開設

# 江別市地域密着型サービス事業者選定結果

## 1 江別市地域密着型サービス事業者選定委員会

委員長	新田 雅子	札幌学院大学准教授
吉田 修大		北翔大学准教授
中川 雅志		江別市社会福祉協議会事務局長
小野寺 さゆみ		前江別市介護保険事業計画策定等委員会委員
真屋 淳子		江別市健康福祉部長

## 2 選定経過

項目	日程
第1回選定委員会（委嘱状交付ほか）	平成27年7月13日
募集要項公表	平成27年7月31日～
質問受付期限	平成27年8月7日
公募受付期間	平成27年8月24日～9月18日
第2回選定委員会（1次審査）	平成27年10月19日
第3回選定委員会（2次審査）	平成27年11月9日

## 3 審査結果

### (1) 応募状況

事業種別	公募数	応募数
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	2
(介護予防) 認知症対応型共同生活介護	1	6

### (2) 選定結果

事業種別	開設予定期	選定事業者 (候補予定地)
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	平成28年度	社会福祉法人北嶺会 (江別市ゆめみ野東町1番地)
(介護予防) 認知症対応型共同生活介護	平成29年度	クリーンハウス株式会社 (江別市東光町33番地の6)

「江別市立保育園の整備と運営等に関する計画」の進捗状況について  
〔よつば保育園（白樺・若草乳児統合園）建設整備事業〕

1. 施設の概要について

- (1) 所在地 江別市野幌住吉町37番7
- (2) 敷地面積 4,104.72m<sup>2</sup>
- (3) 構造等 鉄骨造 平屋建
- (4) 建築面積 1,465.01m<sup>2</sup> (延床面積 1,424.63m<sup>2</sup>)
- (5) 主要室 乳児室（2室）、保育室（4室）、遊戯室、一時預かり室  
多目的保育室、子育て支援センター、多目的会議室 ほか  
※ 詳細は、裏面平面図のとおり
- (6) 建設工事 ①園舎本体工事 平成27年7月着工（平成28年3月竣工予定）  
②外構関連工事 平成28年5月頃着工予定（同年9月頃竣工）
- (7) 供用開始 平成28年10月頃（予定）

2. 利用定員について

よつば保育園は、既存2園の定員（白樺：90人、若草乳児：30人、計120人）を基本に、待機児童の状況及び子ども・子育て支援事業計画のニーズ量などを踏まえ、0～2歳児までの定員の見直しを中心としたとして、総定員140人とする。

《定員内訳》

【現行】～ 0歳児：12人、1歳児：18人、2歳児：18人、3歳児：20人、4歳児：26人、5歳児：26人  
【改正】～ 0歳児：18人、1歳児：22人、2歳児：24人、3歳児：24人、4歳児：26人、5歳児：26人

3. 実施する特別保育事業等について

障がい児保育事業、子育て支援拠点事業（子育て支援センターの設置）、一時預かり事業

- 4. 新たな機能（多目的交流スペース・防災備蓄庫の設置）について  
保育機能のほか、地域の交流や自治会活動、発達障がい児の巡回相談等に利用できる多目的交流スペースを確保する。  
また、地域防災対策の推進を図るため、防災用備蓄庫を設置する。

